

Information

市民フォトグラファー養成講座

光市勢要覧の作成に当たり、市民目線で光の魅力を紹介するため、フォトグラファーを公募し、写真撮影にご協力いただきました。プロカメラマンによる講座を受け、より洗練された数多くの素晴らしい写真を提供いただき、よりすぐりの作品を本誌に掲載しています。市民フォトグラファーが見つけた光あふれるまちの美しい光景やキラリと輝く幸せな日常のひとつときをご覧ください。



Special Thanks

内村 肇	菅光 さくら	原田 浩	山崎 淳
加藤 幸子	寒川 哲男	平本 典利	山本 恵美子
熊本 和子	高橋 陽子	星出 知恵美	山本 康平
五箇野 湧大	田中 孝裕	松岡 弘明	ライオン・ジミー
重田 香織	秦 叔孝	松本 興二	
嶋中 香織	濱田 匠	宮内 研二	[敬称略]

▼地勢

光市は、山口県の東南部、周南工業地帯の東部に位置し、瀬戸内海国立公園の一部を含む自然景観が優れた人口約4万8,000人の都市です。市域東部には由緒深い古代の史跡とともに豊かな広葉樹林が広がる石城山があり、北西部を島田川が貫流して周防灘に注ぎ、中心地域は河口デルタを形成して、その両端に西日本を代表する海水浴場として知られる室積・虹ヶ浜海水浴場の白砂青松の海岸が広がっています。

気候は温暖な瀬戸内式気候であり、全国でも屈指の日照時間を誇る「晴れ」のまちです。このような山・川・海に囲まれた自然的地理条件は、市民の良好な居住環境となり、さらには、産業活動を進めていく上でも優れた条件になっています。

▼沿革

明治22年に市制町村制が実施された当時、現在の市域には、浅江、岩田、塩田、島田、周防、東荷、三井、光井、三輪及び室積の10村がありました。室積村は明治39年にいち早く町制を敷くとともに、昭和14年に海軍工廠の建設を契機に浅江、島田、三井及び光井の4村が合併して周南町となり、翌年には、町名を光海軍工廠の命名に合わせて光町に改名しました。昭和18年には、光町と室積町が合併し、旧光市が誕生（昭和30年に周防村と合併）するとともに、岩田、塩田、東荷、三輪の4村の合併により大和村（昭和46年に町制施行）が誕生しました。平成16年10月4日、古くから歴史的・経済的なつながりが強く、日常生活や教育文化など多くの分野で交流のあった旧光市と大和町は、分権時代の新たな行政ニーズに対応すべく合併し、新「光市」としての第一歩を力強く踏み出しました。



▼市章

光の文字をデザイン化したもので、市民のふれあいと光市の躍動感を表現しています。



▼市の木:クロマツ

風や飛砂などから人々の生活を守ってきた室積・虹ヶ浜海岸のクロマツは、先人から引き継がれてきたまちの宝で、その美しい景観から、日本の白砂青松100選や日本の名松100選などに選定されています。



▼市の花:ウメ

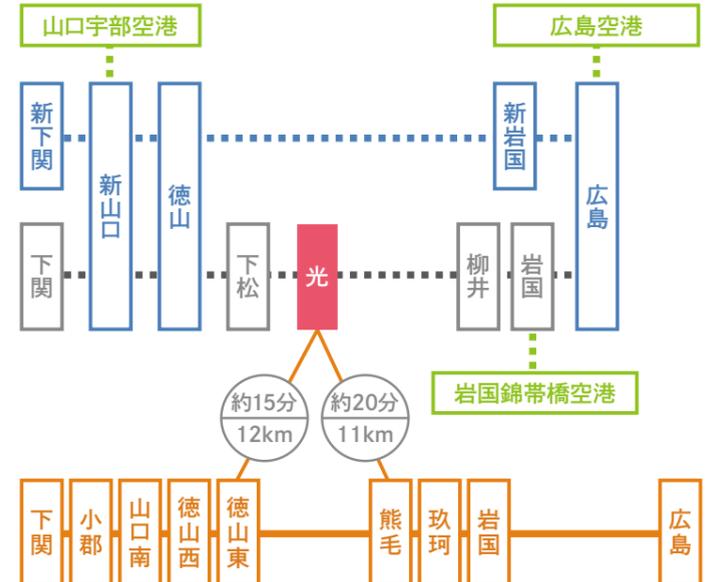
降り注ぐ陽光の下、豊かな自然を有する明るいまちのイメージと合致するウメ。県内でも有数の梅の名所である冠山総合公園梅の里には、約100種類2,000本の梅の木が植樹されており、多くの人々が訪れます。

Access

▼光市の位置



▼アクセス図



▼アクセス情報

飛行機

●岩国錦帯橋空港からは、JR岩国駅経由で。山口宇部空港からは、JR新山口駅経由で。広島空港からは、JR広島駅経由で。

新幹線 在来線

●JR徳山駅下車、山陽本線岩国方面に乗り換え、JR光駅（約15分）へ。

マイカー

●山陽自動車道 ▶広島方面：熊毛I.C～JR光駅（11km～約20分）▶九州方面：徳山東I.C～JR光駅（12km～約15分）

▼アクセス情報

周南近鉄タクシー	0833-72-0123	防長バス	0833-43-2200
西部光タクシー	0833-71-0001	JR光駅	0570-00-2486
大和タクシー	0820-48-2050	牛島海運	0833-72-1420
岩田タクシー	0820-48-2050		